

採れたて!!

わかごぼうのニエス

合併号

No.90&91

発行 2021年10月
八尾市パーソナルサポートセンター
大阪府八尾市本町1-4-1-201
TEL:072-999-7900

なつやすみの思い出お手伝い

去年、流行し始めた新型コロナウイルス、感染拡大を阻止するため、国は緊急事態宣言を発令しました。不要不急の外出自粛、学校の休校、商業施設の閉鎖など、人と接する機会を極力減らす対策を講じてきましたが、感染者数が減るところか、八月には一日の新規感染陽性者数が二万人を超えたことが発表されました。まだまだ収束する気配は見られないです。感染拡大も危惧するところではありますが、僕としては、もう一つ危惧することがあります。それは、子どもたちの学習の機会です。成長段階にある子どもたちが本来触れ合えたはずの多様な体験が、外出の自粛や商業施設の閉鎖などで失われているのではと考えることがあります。

そんな中、最大限の感染予防対策を講じながら子ども達に体験の場を作っている「生涯学習センターかがやき」で行われた、なつやすみ子ども講座にわかごぼうメンバ―もボランティアアスタッフとして参加してきました。

●参加してみて

私は、学童保育など子どもにも携わる仕事に興味があり、現在も放課後デイサービスにボランティアとして参加しています。

今回の講座に参加をして、子どもたちに対する関わり方や立ち回りを少しでも勉強できればと思います。参加しました。

当日、会場に着き何を担当するかの説明を受けました。子どもたちの誘導役と受付スタッフのどちらかを担当してほしいと言われましたが、一人で誘導するのは荷が重いなと思い、いざというときに助け船が出てもらえ、受付の消毒と検温を担当することにしました。開場時刻になるとパラパラと人が来て、子どもたちの消毒と検温の対応をしていました。

途中で、会場に入る保護者にも消毒と検温が必要だと知って、どう声をかけたらいいのかわからず、あたふたしてしまいました。対応が遅く、どのように声をかければスムーズにできるのか考えながら、対応していました。受付の仕事が終わったところで、けん玉名人に



モウくん気楽に!

教えてもらっている子どもたちの応援役をしました。応援役での反省点は、一人の子どもにしか声をかけられなかったことです。

イベント後、スタッフさんから「周りを良く見ること」「子ども達ともっと気楽に話せばいい」「チーム内の自分の役割」「」と、どうい子に声を掛けたいのか」と助言をしてもらったので、次から心がけていこうと思います。けん玉教室が終わり、次にけん玉検定が行われました。

けん玉名人の前で子どもたちが、先ほど教えられたけん玉の技を披露していきます。今回の目標は「けん玉検定四級とめけん」のクリアでした。とめけんは、玉をまっすぐに上げて剣先に刺す技です。これを十回チャレンジして三回成功させれば、けん玉検定四級がもらえるようです。

練習中は連続で成功していた子どもたちも、本番になって名人の前で一人チャレンジするのは緊張したのが、失敗する子どもも多く、四級を取れた子は一人だけでした。それでも、五級や六級を取れて笑顔で親に報告する場面は、感動を覚える場面でした。けん玉検定が終わり、あとは撤収作業という所でスタッフさんの興味本意で突然、私がけん玉検定を受けることになりました。結果、十級ある、けん玉検定の「十回中一回大皿にのせる」ことに成功して十級をとることができました。

練習では大皿に乗せる事も出来なかったのですが、本番で出来たのは嬉しかったです。参加してみて感じたことは、自分が思ったように出来ないことが沢山あるなと思ったので、ぼちぼち頑張っていく予定です。



わかごぼうは

失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけた。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんのことを学べるから。

八尾市社会的居場所事業

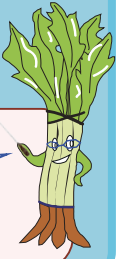
わかごぼうに 来ませんか?

☆参加対象になる方

- ◇社会参加を望みながら不安を感じている方
- ◇これからの自分を考えたい
- 家族以外の人との関わりが薄い方
- ※また、その方のご家族・親族の方もご相談いただけます。(込み合う場合がございますのでご予約下さい。)

今を変えたいけど、どうしたらいいのかわからない。そんなあなたに伝えるための社会的居場所です。

自分のペースで参加できます。



開催時間：毎週木曜日14:00-16:00
開催場所：わかごぼう
八尾市南本町7-6-23
※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ & 参加申込み
電話：072-992-6921
✉ : wakagobou@yaops.jp
電話受付時間：9:00-17:00 (祝日除く月～金)

ウニもめるよ

果たして真相へたどりつけるか？

ある日の休日、集まったメンバーでゲームをしました。今回は、カードゲームではなく「ウミガメのスープ」という推理ゲームをしました。

ゲームの流れは、問題の出題者と回答者に分かれ、回答者は問題文のみが与えられ、その問題文の状況に対して出題者に質問をしていきます。出題者は質問に対して『ハイ』か『イエ』のみで回答するので、その回答を読んでいきながら更に質問をしていき、真相に近づいていくゲームです。

いざ始めてみると、僕は難しいなと感じました。問題文の物語から内容を深読みして、質問を考えないといけないし、その質問の回答から関連性のある質問を繰り返す作業は難しかったです。まるで、なぜなぜをしているようでした。僕は、結局質問をいくらししても真相にたどり

着くことが出来なくて、本当に難しいゲームだと思いました。でも、なかなかいい頭の運動になりました。〇やってみて

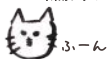
僕は、元々ミステリー小説が好きでよく読むので、ウミガメのスープもそれに似ていて、状況を少しずつ紐解きながら謎を解いていく快感が味わえました。

問題の真相に近づく質問が出来たときは、ドーパミンがドバツと出る感覚になるので、こういう会話を主体にしたゲームは、面白いなと思いました。僕は、普段ルーチンワークでいかに業務を効率よく回すかを常に考えているのですが、こういうゲームは論理的思考の練習になるんじゃないかと感じました。今日はほどよく脳が疲れたので、気持ちよく睡眠がとれそうです。



わかごぼうニュース編集

わかごぼうでは、毎月参加者が企画した活動内容を参加者自身でコンテンツにしたニュースを編集して発信しています。



是非次号もご覧ください

2ヶ月遅れの収穫祭

緊急事態宣言が発令されていた八月九月の二か月間ですが、わかごぼうでの活動も休止していました。活動自体を休止していたため、二か月の間に予定していたイベントが軒並み実施不可能になってしまいました。その最たるものとして「農園活動」が全くできなくなっていました。

本来の予定であれば、八月の初旬には現在植えている、鷹の爪、ごぼう、パプリカを収穫し、冬までに収穫が出来る次期作物を植える予定をしていたのですが収穫しようにも活動できず、あれよあれよという間に収穫時期が十月にまで伸びてしまいました。収穫時期をとうに逃した作物ですが、せつかく汗水ながして育てたので腐っていない方がいいが収穫をすることにしました。

当日、わかごぼうに來られた見学者を連れて農園に収穫に行きました。休止期間中もスタッフが定期的に水やりや雑草処理等していたので腐ってしまっていたのはパプリカだけでした。

収穫が遅れてしまった功名というのか、八月には真っ青だった鷹の爪が真っ赤に熟していて、ごぼうは大きく葉っぱを広げており八月には見られなかった成長を見せていて熟れた作物を収穫することが出来そうでした。

ごぼうを引っこ抜き、鷹の爪は切り取り、着々と収穫をすましていき、無事二ヶ月遅れの収穫祭は終了しました。

収穫した鷹の爪は紐で編み込み、吊るして乾燥させる予定でしたがここで問題点が、どうやら編み込むのは相当に難しいようで、鷹の爪がつるつると滑り、編んでいる糸から逃げていきます。

何回しても上手くいかず、メンバーからギブアップの声が上がリ、鷹の爪を編んで乾燥させるのは断念しました。次回には、収穫した鷹の爪を使って「ペペロンチーノ」を作りたいと思います。

第5の波を乗り越えて

緊急事態宣言が出てから、約二週間ほどで、一日の新型コロナウイルス新規陽性感染者が大阪府下では二千人を超え、日本全体では二万人を超えていました。

幸い、わかごぼう利用者に感染された方はいませんでしたが、九月に入っても新規感染者は減らず「感染者が減るのは、まだまだ先だろな」とスタッフ同士で話していました。そんな話をしていさなな、九月の中頃から徐々に新規感染者が減っていき、九月後半には一日の感染者数が二千人を下回り、国内の新型コロナウイルスワクチン接種者が五割を超え、重症化する感染者も減り、九月三十日に緊急事態宣言が全面解除になる運びとなりました。

社会的居場所わかごぼうも二か月の休止期間を終え、十月より通常通り開催できることになりました。例年通りであれば、行楽のシーズンです。居場所内だけで活動するのではなく外出イベントも行っていきたいですね。

わかごぼうスタッフはワクチン接種を終えておりませんが、感染しない、させないわけではないので、これまで通り基本的な感染防止対策、密にならない工夫などを徹底して開催していきたいと思えます。

これからのわかごぼう

十月以降は、緊急事態宣言が解除されたので、通常通り開催を予定しています。

そして来月は、収穫した鷹の爪を使って、ペペロンチーノ作り。冬に収穫が出来る種を蒔く農園活動などを行う予定です。

勿論ボランティアやテーマトークなどもあります。こんなときこそひとりりはよくない。みんな似ている。ひとりりはよくない。

つながる力を身に着けよう。社会的居場所わかごぼう新規参加者募集中です。

